

人事管理システム

人事奉行V ERP11

機能アップガイド

Ver.4.12

目次

退職して7年経過した社員の個人番号（マイナンバー）を削除可能	2
搭載辞書を更新	2

● 退職して7年経過した社員の個人番号（マイナンバー）を削除可能

給与支払者が収集した個人番号は、扶養控除等（異動）申告書の提出期限の属する年の翌年1月10日の翌日から7年を経過する日まで保存する必要があります。なお、保存期限が経過した場合は、個人番号をできるだけ速やかに廃棄または削除する必要があります。

今回から、[社員情報]-[個人番号処理]-[個人番号一括削除]メニューの条件設定画面で「退職社員」にチェックを付けると、退職して7年経過した社員とその家族の個人番号も削除できるようになりました。また、個人番号を削除する社員の範囲を指定することもできます。

● 掲載辞書を更新

郵便番号辞書	2023年9月29日時点
銀行支店辞書	2023年10月2日時点
市町村辞書	2023年10月2日時点

人事管理システム

人事奉行V ERP11

機能アップガイド

Ver.4.11

● 搭載辞書の更新

郵便番号辞書	2023年 4 月28日時点
銀行支店辞書	2023年 5 月 1 日時点
市町村辞書	2023年 5 月 1 日時点

人事管理システム

人事奉行V ERP11

機能アップガイド

Ver.4.10

《改正情報》	
成年年齢の引き下げに対応	2
令和5年分の「給与所得者の扶養控除等（異動）申告書」の改正対応（国外扶養親族の扶養控除の見直し）	2
《機能追加》	
配偶者を登録した際に、配偶者の扶養区分の初期値を「0：控除対象外」に変更	3
雇用保険区分の選択肢から、免除高齢者の区分を削除	3
規定文書の押印廃止に対応	4
定年後再雇用手続で提出する離職証明書に使用する給与データをアップロード可能 ＜『奉行Edge 労務管理電子化クラウド』をお使いの場合＞ ＜『給与奉行』をお使いの場合＞	4
搭載辞書を更新	5

<< 改正情報 >>

成年年齢の引き下げに対応

民法の改正により、2022年4月より成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。
 当システムでは、[社員情報登録]メニューの[給与]ページの【本人区分情報】の未成年者区分が、18歳未満の場合に「1：未成年者」と判定されるようになりました。

<< 関連メニュー >>

[社員情報]-[社員情報登録]-[社員情報登録]メニュー

令和5年分の「給与所得者の扶養控除等（異動）申告書」の改正対応（国外扶養親族の扶養控除の見直し）

令和5年分より、非居住者である扶養親族の扶養控除の適用要件が変更されました。
 令和4年以前は16歳以上が扶養控除の対象でしたが、令和5年以降は30歳以上70歳未満の場合、留学生、障害者、38万円以上の送金がある場合のみ、扶養控除の対象となります。
 上記に伴い、令和5年より扶養親族の居住者区分が変更されます。
 処理年を令和5年に更新すると、[社員情報登録]メニューの[家族]ページの扶養親族の居住者区分の選択肢が、以下に変更されます。

居住者区分 令和4年以前	居住者区分 令和5年以降
0：居住者 1：非居住者	0：居住者 1：非居住者（30歳未満又は70歳以上） 2：非居住者（30歳以上70歳未満、留学） 3：非居住者（30歳以上70歳未満、障害者） 4：非居住者（30歳以上70歳未満、38万円以上の支払）

また、汎用データの社員情報データについても、令和5年以降は扶養親族の居住者区分の選択肢が変更されます。

【令和4年以前】
 <社員情報データ・社員情報予約データ>

項目名	受入記号	受入桁数	受入種別	備考
【家族情報】				
扶養親族 1～10				
居住者区分	EFMD020	1	数字	0：居住者 1：非居住者 2人目以降の受入記号 EFMD120 EFMD220 EFMD320 EFMD420 EFMD520 EFMD620 EFMD720 EFMD820 EFMD920

【令和5年以降】

＜社員情報データ・社員情報予約データ＞

項目名	受入記号	受入桁数	受入種別	備考
【家族情報】				
扶養親族 1～10				
居住者区分	EFMD020	1	数字	0：居住者 1：非居住者（30歳未満又は70歳以上） 2：非居住者（30歳以上70歳未満、留学） 3：非居住者（30歳以上70歳未満、障害者） 4：非居住者（30歳以上70歳未満、38万円以上の支払） 2人目以降の受入記号 EFMD120 EFMD220 EFMD320 EFMD420 EFMD520 EFMD620 EFMD720 EFMD820 EFMD920

＜ 関連メニュー ＞

[社員情報]-[社員情報登録]-[社員情報登録]メニュー

＜機能追加＞-----

- 配偶者を登録した際に、配偶者の扶養区分の初期値を「0：控除対象外」に変更

昨今の共働き夫婦が増加している背景から、配偶者の扶養区分の初期値を「1：源泉控除配偶」から「0：控除対象外」に変更しました。

[社員情報登録]メニューの[家族]ページで、配偶者の有無に「1：配偶者あり」を選択すると、配偶者の扶養区分に「0：控除対象外」が初期表示されます。

＜ 関連メニュー ＞

[社員情報]-[社員情報登録]-[社員情報登録]メニュー

- 雇用保険区分の選択肢から、免除高齢者の区分を削除

令和2年に雇用保険料の免除措置が廃止されており、すでに免除高齢者に該当する社員はいないため、[社員情報登録]メニューの[劳保]ページの雇用保険区分の選択肢から、「2：免除高齢者」を削除します。

これに伴い、汎用データの社員情報データの雇用保険区分の選択肢から、「2：免除高齢者」が削除されます。

<社員情報データ・社員情報予約データ>

項目名	受入記号	受入桁数	受入種別	備考
【労働保険情報】				
雇用保険区分	ES0C031	1	数字	0：計算不要 1：計算する

<< 関連メニュー >>

[社員情報]-[社員情報登録]-[社員情報登録]メニュー

● 規定文書の押印廃止に対応

労働条件通知書などを印刷する場合に、レイアウト上にあった押印する箇所の「印」を削除しました。

<< 関連メニュー >>

- ・[規定文書]-[通知書]-[労働条件通知書]メニュー
- ・[規定文書]-[証明書]-[在職証明書]メニュー
- ・[規定文書]-[証明書]-[退職証明書]メニュー

● 定年後再雇用手続で提出する離職証明書に使用する給与データをアップロード可能

< 『奉行Edge 労務管理電子化クラウド』をお使いの場合 >

< 『給与奉行』をお使いの場合 >

[社員情報]-[労務管理電子化クラウド連携]-[離職証明書/賃金証明書アップロード]メニューで、定年後再雇用手続で提出する離職証明書に使用する給与データをアップロードできるようになりました。

[離職証明書/賃金証明書アップロード - 条件設定]画面の[基本設定]ページで、アップロード対象に「離職証明書」を選択すると、『労務管理電子化クラウド』へ給与データをアップロードします。

離職証明書/賃金証明書アップロード - 条件設定

基本設定 詳細設定

アップロード対象

☒ 離職証明書
退職手続/定年後再雇用手続で提出する離職証明書の賃金データをアップロードする場合に選択します。
退職年月日 5:令和 年 月 日 ~ 5:令和 年 月 日

☐ 休業開始時賃金月額証明書
育児休業手続で提出する休業開始時賃金月額証明書の賃金データをアップロードする場合に選択します。
休業開始年月日 5:令和 年 月 日 ~ 5:令和 年 月 日

☐ (77回) 高年制雇用継続給付支給申請書・六十歳到達時賃金月額証明書
高年制雇用継続給付で提出する支給申請書と賃金証明書の賃金データをアップロードする場合に選択します。
60歳の誕生日 5:令和 年 月 日 ~ 5:令和 年 月 日
申請対象期間 5:令和 年 月 ~ 5:令和 年 月

☐ (2回目以降) 高年制雇用継続給付支給申請書
2回目以降の高年制雇用継続給付で提出する支給申請書の賃金データをアップロードする場合に選択します。
申請対象期間 5:令和 年 月 ~ 5:令和 年 月

範囲指定

社員番号 ~

最初 ~

最後 ~

アップロード対象を選択し、累計する範囲を指定します。
注意 [アップロード対象社員設定]メニューで「9:対象外」の社員はアップロードできません。
詳細⇒[操作説明]ボタン

高度(V)

その他

操作説明(D)

《 関連メニュー 》

[社員情報]-[労務管理電子化クラウド連携]-[離職証明書/賃金証明書アップロード]メニュー

● 搭載辞書を更新

郵便番号辞書

2022年9月30日時点

銀行支店辞書

2022年10月3日時点

市町村辞書

2022年8月1日時点

人事管理システム

人事奉行V ERP11

機能アップガイド

Ver.4.08

● 搭載辞書を更新

郵便番号辞書

2022年 3 月31日時点

銀行支店辞書

2022年 4 月 4 日時点

市町村辞書

2022年 4 月 4 日時点

人事管理システム

人事奉行V ERP11

機能アップガイド

Ver.4.07

《改正情報》-----

● 退職所得課税の改正に対応

＜『退職金管理オプション』をお使いの場合＞

令和4年以降に支払われる勤続年数が5年以下の役員でない社員の退職金（以下「短期退職手当等」）に対して、「短期退職手当等」の収入金額から退職所得控除額を控除した残額のうち、300万円を超える部分について 2分の1 課税が廃止されます。

《 関連メニュー 》

[退職金算定]-[退職金算定処理]-[退職金算定処理]メニュー

《機能追加》-----

● 搭載辞書を更新

郵便番号辞書	2021年11月30日時点
銀行支店辞書	2021年12月6日時点
市町村辞書	2021年12月6日時点

人事管理システム

人事奉行V ERP11

機能アップガイド

Ver.4.06

- 高年齢雇用継続給付の賃金支払状況と賃金証明書に記載する給与データをアップロード可能

＜『奉行Edge 労務管理電子化クラウド』をお使いの場合＞

＜『給与奉行』をお使いの場合＞

[社員情報]-[労務管理電子化クラウド連携]-[離職証明書／賃金証明書アップロード]メニューで、高年齢雇用継続給付申請の支給申請書の賃金支払状況（初回・2回目以降）と賃金証明書（初回）に記載する給与データをアップロードできるようになりました。
[条件設定]画面の[基本設定]ページでアップロード対象を選択し、『労務管理電子化クラウド』へ給与データをアップロードします。

◀ 関連メニュー ▶

[社員情報]-[労務管理電子化クラウド連携]-[離職証明書／賃金証明書アップロード]メニュー

- 搭載辞書を更新

郵便番号辞書	2021年9月30日時点
銀行支店辞書	2021年10月4日時点
市町村辞書	2021年10月4日時点

人事管理システム

人事奉行V ERP11

機能アップガイド

Ver.4.04

● 搭載辞書を更新

郵便番号辞書

2021年 3 月31日時点

銀行支店辞書

2021年 4 月 5 日時点

市町村辞書

2021年 4 月 5 日時点

人事管理システム

人事奉行V ERP11

機能アップガイド

Ver.4.03

● 健康保険と厚生年金保険の資格喪失原因に「11：社会保障協定」が追加

[社員情報登録]メニューの健康保険、厚生年金、厚生年金基金の資格喪失原因（[社員情報]-[社員情報登録]-[社員情報登録]メニューの[社保]ページで設定）の選択肢に「11：社会保障協定」が追加されます。

上記に伴い、汎用データの社員情報データの項目が変更されます。

なお、[随時処理]-[汎用データ作成]-[社員情報データ作成]-[社員情報データ作成]メニューで出力した際の桁数も、1桁から2桁に変更します。

項目名	受入記号	受入桁数	受入種別	備考
【社会保険情報】				
健康保険				
資格喪失原因	ES0C010	2	数字	受入桁数の変更と選択肢の追加 （受入桁数が1桁から2桁へ変更、選択肢に「11：社会保障協定」を追加）
厚生年金保険				
資格喪失原因	ES0C018	2	数字	受入桁数の変更と選択肢の追加 （受入桁数が1桁から2桁へ変更、選択肢に「11：社会保障協定」を追加）
厚生年金基金				
資格喪失原因	ES0C024	2	数字	受入桁数の変更と選択肢の追加 （受入桁数が1桁から2桁へ変更、選択肢に「11：社会保障協定」を追加）

● 『奉行Edge 労務管理電子化クラウド』との連携に対応

『奉行Edge 労務管理電子化クラウド』と当システムの社員情報を連携して運用できるようになりました。

『労務管理電子化クラウド』では、従業員の入社から退職までに発生する手続きをすべて電子化できます。

手続きを電子化することで、紙によって発生する書類の作成、印刷、郵送などの時間を劇的に削減し、記入や提出など従業員の業務時間も削減することができます。

『労務管理電子化クラウド』の詳細については、以下のサイトをご参照ください。

<https://www.obc.co.jp/bugyo-edge/labor>

● 搭載辞書を更新

郵便番号辞書	2021年1月29日時点
銀行支店辞書	2021年2月1日時点
市町村辞書	2021年1月4日時点

人事管理システム

人事奉行V ERP11

機能アップガイド

Ver.4.02

《改正情報》

● ひとり親控除の創設に伴い、社員情報の寡婦(夫)区分が変更

ひとり親控除の創設に伴い、[社員情報登録]メニューの[給与]ページの寡婦(夫)区分が、[随時処理]-[年次更新]メニューで2021年（令和3年）に年次更新を実行すると、「寡婦／ひとり親区分」に変更されます。

選択肢は、「0：対象外」「1：寡婦」「2：ひとり親」になります。

※「寡婦(夫)区分」で設定されていた選択肢が以下のように変更されます。

なお、退職社員は退職時点の寡婦(夫)区分の情報が表示されます。

- ・「0：対象外」の場合は「0：対象外」
- ・「1：寡婦(夫)」で性別が女性の場合は「1：寡婦」
- ・「1：寡婦(夫)」で性別が男性の場合は「2：ひとり親」
- ・「2：特別寡婦」の場合は「2：ひとり親」

※処理年が「2020年（令和2年）」以前の場合は、「寡婦(夫)区分」になります。

上記に伴い、汎用データの社員情報データと社員情報予約データの項目が変更されます。

＜社員情報データ・社員情報予約データ＞

項目名	受入記号	受入桁数	受入種別	備考
【本人区分情報】				
寡婦／ひとり親区分	ESED001	1	数字	項目名と選択肢の変更 (項目名を「寡婦(夫)区分」から「寡婦／ひとり親区分」に、選択肢を「1：寡婦(夫)」「2：特別寡婦」から「1：寡婦」「2：ひとり親」に変更)

《機能追加》

● 搭載辞書を更新

郵便番号辞書	2020年9月30日時点
銀行支店辞書	2020年10月5日時点
市町村辞書	2020年8月3日時点

人事管理システム

人事奉行V ERP11

機能アップガイド

Ver.4.01

目次

	搭載辞書を更新	2
--	---------	---

● **搭載辞書を更新**

郵便番号辞書	2020年 4 月30日時点
銀行支店辞書	2020年 5 月 7 日時点
市町村辞書	2020年 1 月 6 日時点